



# 元気な森づくり



「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議  
事務局：宇都宮市埴田1-1-20 栃木県環境森林政策課内  
連絡先：028-623-3262

H20.3

No. 6

## 森づくり、木づかい、普及啓発の3部会合同会議を開催しました

森づくり推進部会（部会長：神奈川県森連会長）  
木づかい推進部会（部会長：山口県木連理事長）  
普及・啓発部会（部会長：荒井県緑推理事長）では、  
2月22日に3部会合同で打ち合わせ会議を開催  
しました。今回の会合は、それぞれの部会の企画  
運営を行う企画員が選任されたことに伴い、今後  
の活動について意見交換を行うことを目的に開催  
されました。

会合では、新年度の県予算について事務局から  
説明を受けた後、県民会議各部会としての取組  
について意見が交わされました。

なお、3部会の組織構成は次のとおりです。



3部会合同会議

### 森づくり推進部会

所属団体名	氏名	摘要
栃木県森林組合連合会	神山 精二	部会長
(社)栃木県造園建設業協会	落合 功	
栃木県教育委員会	田村 一	
(財)栃木県森林整備公社	栗林 孝夫	
栃木県林業振興協会	岡本 治房	
足尾に緑を育てる会	神山 英昭	
「かぐや姫」なごみの里竹原	鈴木 茂	
(株)下野新聞社	飯島 一彦	
県民(公募)	森本 久子	
栃木県	佐藤 基明	

### 木づかい推進部会

所属団体名	氏名	摘要
栃木県木材業協同組合連合会	山口 武夫	部会長
栃木県商工会連合会	稲葉 光二	
栃木県建築組合連合会	奥 正義	
(社)栃木県建築士事務所協会	夏目 公彦	
栃木県生活学校連絡協議会	竹田あや子	
栃木県共同高等産業技術学校連絡協議会	尾股賢一郎	
栃木県木材需要拡大システム協同組合	松井 浩	
栃木県特用林産協会	福田 正光	
(株)エフエム栃木	鹿島田千帆	
栃木県	根本 久	

### 普及・啓発部会

所属団体名	氏名	摘要
(社)栃木県緑化推進委員会	荒井 憲志	部会長
(社)栃木県商工会議所連合会	伊沢 実	
栃木県生活協同組合連合会	鎌柄 克美	
栃木県PTA連合会	落合 延行	
(株)栃木放送	高瀬 和明	
一般県民(公募)	阿久津 隆	
一般県民(公募)	丸山 美和	
栃木県市町村林野振興対策協議会	山口 文明	
栃木県	今井 清人	

## とちぎの元気な森づくり県民税

4月1日からスタートします。

個人：年額700円 法人：均等割額の7%

— 伝えよう「森と木の文化」  
残そう「とちぎの元気な森」 —

## 森づくり憲章策定のため、第2回策定委員会が開催されました



第2回憲章策定委員会

森づくり憲章策定委員会（委員長：陣内宇都宮大学教授）では、2月20日に第2回森づくり憲章策定委員会を開催しました。

今回は、県民の皆さんから寄せられた1,248件の「森づくりに対する意見」を参考にさせていただきながら、憲章に盛り込むべき骨子の検討を行いました。検討された骨子は、まず、森のことを良く知りましょう。そして、森づくりに参加したり、木材を使うようにしましょう。さらには、そのことを多くの人に広げて、元気な森を次の世代に残しましょう。

この～を骨子として、憲章を制定することを確認しました。  
3月にもう一度会合を開き、最終案文を決定するとともに公表させていただく予定でいますので、よろしくお願いいたします。

## 評価委員会では評価のあり方を検討しています

評価委員会（委員長：笠原義人宇都宮大学名誉教授）では、2月19日に会合を持ちました。

この日、評価委員会委員に選任された7人は、4月からスタートする「とちぎの元気な森づくり県民税」について、公平かつ的確な評価を行うための手法の方向性について、検討を開始しました。

今回は、県民税制度の概要、他県の評価制度の状況、評価手法の方向性などについて、協議を行いました。



第1回評価委員会

所属団体名	氏名	摘要
宇都宮大学	笠原 義人	委員長
栃木県中小企業団体中央会	床井 信一	
栃木県地域婦人連絡協議会	小野 ナツ	
2000年記念の森の会	新嶋 高行	
(株)とちぎテレビ	神野 俊彦	
作新学院大学	山口 厚江	



## 「森づくりニュース」バックナンバーは、県HPに掲載しています

これまで、発行してきました「とちぎの元気な森づくりニュース」(No.1～6)は、栃木県公式サイトからダウンロードできます。

とちぎの元気な森づくりニュースのバックナンバーは、

<http://www.pref.tochigi.jp/eco/shinrin/zenpan/1202345320422.html> に掲載しています。

( or トップ > 環境 > 森林・緑化 > 森林全般 > 森づくりNEWS )

これからの発行分も追加掲載していきますので、どうぞ御利用ください。

## 新年度県予算（案）が発表されました

平成20年2月8日に2008年度の県の当初予算案が発表されました。その中から、「とちぎの元気な森づくり県民税事業」の概要は、次のとおりです。平成20年度は、法人の県民税の税収がないことから、「とちぎの元気な森づくり県民税」の歳入総額は、6億3,000万円を見込んでいます。



県事業と市町村交付金事業別、元気な森づくり（ハード）と森を育む人づくり（ソフト）の予算比率は、次表のとおりです。元気な森づくりのうち、県の奥山林と市町村の里山林の配分は、約6：4となっています。元気な森づくり（ハード）と森を育む人づくり（ソフト）の比率は、8：2となっています。

区 分	県事業	市町村交付金事業	合計
元気な森づくり	289,100 ( 46%)	219,400 ( 35%)	508,500 ( 81%)
森を育む人づくり	87,700 ( 14%)	33,800 ( 5%)	121,500 ( 19%)
計	376,800 ( 60%)	253,200 ( 40%)	630,000 ( 100%)

## 企業の森づくりフェアが開催されました

地球温暖化防止や生物多様性保全などといった地球環境に対する国民の意識の高まる中で、企業においても、社会的責任（CSR）活動の一環として、「企業の森づくり」が全国各地で取り組まれています。こうした状況の中で、林野庁では、企業が森づくり活動に参加する一つのきっかけとなるよう、企業の環境・CSR担当者向けに、「企業の森づくりフェア2008」を開催しました。

全国2会場で行われましたが、東京会場は、2月22日に農林水産省講堂で開催され、企業の森づくりに関する基調講演や事例報告、企業の森づくりサポート制度の紹介、各都道府県との個別相談会が行われました。

本県も会場に相談ブースを設け、県内に生産拠点がある企業を中心に、フィールド、経費、県をはじめとするサポート体制などについての相談に応じました。

（CSR = Corporate Social Responsibilityの略）



企業の相談に応じる県担当者

## 林業就業希望者に対して共同説明会が開催されました

栃木県林業労働力支援センター（所長：栗林孝夫）では、「林業労働力の確保の促進に関する法律」に基づく森林組合等の認定事業者からの委託を受けて、共同説明会を開催しました。今年度は、2回開催しましたので、その概要を報告します。

第1回目は11月16日、第2回は1月26日に行われました。第1回目の募集は1月からの就業、2回目は4月の就業を想定して行われました。参加者は、第1回目が35人、第2回目が54人で、合計89人の参加がありました。2回目の参加者が多かったのは、土曜日の開催によるものと思われます。求人は9事業者で25名でしたが、第1回目の説明会の後に事業者が実施した面接で7名の就業が決定しています。

参加者の平均年齢は、第1回目が38.2歳 第2回目が44.4歳でした。これらの皆さんが4月から始まるとちぎの元気な森づくり県民税による森林整備事業が計画的に行われるよう期待しています。



個別事業者との質疑応答

参加者の年齢構成

区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代	不明	計
第1回	1	8	20	7	5	-	-	41
第2回	-	11	17	11	17	6	2	64
計	1	14	30	17	19	6	2	105

（この記事は、栃木県林業労働力確保支援センター山口智行氏から情報をいただきました。）